

経済連携協定に基づく 介護福祉士候補者受入れ事例について

令和元年11月1日

社会福祉法人 清恵会
本部参事 八塚 桂介

E P A候補者の受入れの様子は
国際厚生事業団のホームページを
是非ご確認ください

https://jicwels.or.jp/?page_id=25

法人理念「協調と調和」「感謝と思いやり」

受入れ施設：特別養護老人ホーム三陽（札幌市）

- 特別養護老人ホーム
10名×8ユニット
- ショートステイ
10名×1ユニット
- デイサービスセンター
定員30名
- 居宅介護支援事業所



《介護福祉士候補者の受入実績》

2017年8月～ 1名（ベトナム国籍）

2019年8月～ 4名（ベトナム国籍）

～ 日本と相手の国の文化的特徴を知る ～

- 沈黙は金
- 本音と建て前
- とりあえず、すみません
- 日本独自のマナー
- 協調と自立
- 暗黙のルール
- 時間の概念

～ 当たり前とは ～

- 受け入れて給料を払っているのだから
- 郷に入っては郷に従うべき
- 人ではなく歯車だ

～ 生活の課題 ～

- 孤独の解消
- 食文化の違い

～ 法人の目的・候補者の目的 ～

- 日本人の若者にも人気がある会社か
- 譲れるものと譲れない企業理念は何か
- 迎合すれば日本人がストレス

～ 候補者との接し方 ～

- 同じ人間とみているか
 - 尊厳は守られているか
 - 相手のためではなく、相手の立場に立っているか
 - 自分の子どもや孫が悩んでいたらどうするか
-
- 信頼される日本人であるか
 - 面従腹背とならないように
 - 失った信頼は、SNSで拡散され、候補者が選ばない企業、選んではいけない企業となる

～ 学習・研修について ～

- 企業として、採用・雇用計画を立てる必要がある
- それぞれの企業の計画により、候補者へのアプローチは変わる
- 日本語の習得はかなりの時間を要すると考えた方がよい
- 勉強の機会の充実
⇒ 幹部が汗をかくことが大切

☆結局最後は…

- ・信頼関係がなければ、親子でも叱ることは難しい
- ・信頼関係があれば、叱ってもわかってもらえることが増える

ご清聴いただき
ありがとうございました